

NEW YEAR EKIDEN GUIDE

証明

～真の強さの確立～

第67回全日本実業団駅伝

ニューイヤー駅伝 2023

2023年1月1日 (日) AM9:15

TBS系列で生中継

1月1日は、沿道から #goスバル でツイート

ニューイヤー駅伝を沿道で応援する皆さん

当日は写真や動画を撮影し #goスバル でツイートしてください。
走っているSUBARUの選手や、盛り上がりぶりをお待ちしています。

選手決意表明
YouTube



チーム情報満載!
陸上競技部
公式サイト



陸上競技部
公式Twitter



選手紹介 2022年準優勝のSUBARUが、2023年も沿道を沸かせます！



結果出す勝負師

初マラソンで優勝、ニューイヤー予選となる東日本実業団駅伝では区間賞。大事なレースで着実に結果を残す勝負師だ。期待してください。



強すぎる19歳

人生初駅伝のニューイヤー駅伝2022でいきなり区間賞。駅伝ファンの度肝を抜いた。連続区間賞はもちろん、SUBARU上州路初制覇を狙う。底知れぬポテンシャルを持つ19歳。



世界に踏み出したエース

米国のプロチームで3カ月間、修行してさらに進化。10000mで日本歴代7位のタイムをたたき出した。世界に踏み出したエースが、1月1日、白ブチサングラスで疾走する。



研究熱心な長髪ランナー

長めの髪をなびかせながら走るオシャレランナー。性格は超真面目で、練習メニューを徹底的に考え抜き、力をつけてきた。応援が大きいほど加速します。



チーム思いの主将

チームメートの高速化に触発され、急激にタイムを伸ばしている。チーム思いのキャプテンが、ランナーとしても、リーダーとしても、強さを証明する。



声援を力にするお祭り男

ヘアバンドと眼鏡がトレードマーク。盛り上がるほどに力を発揮しますので、沿道の皆様、お祭り男「くっちー」に、大きな拍手をお願いします。



駆け引き上手の“ベスポジ男”

「ほしいクルマ」に挙げるJUSTYさながらの小回りの良さが持ち味。集団でベストの位置を確保する。ナイスなタイミングで飛び出しますので、目を離さないください。



悟りの走りて勝つ！

あらゆる苦勞を乗り越え、ついに強烈な向かい風、苦しい上り坂さえも、「楽しい」と思える境地に。悟りの走りて初制覇への扉をこじ開ける。



ラストパートに自信

1500mで日本歴代7位の記録を持つトップランナー。強烈なラストパートに絶対の自信を持つ。強気の駆け引きにもうご期待。



必見!美しいフォーム

読者モデルでも通用しそうな顔立ちが目立つ。が、注目してほしいのはバランスの取れた筋肉質の体格から生み出される美しいフォームだ。上州路を駆ける準備は万全です。

真船 恭輔



いざ、戦闘モード

集団走で鍛えた闘争本能が持ち味の新人だ。重要なレースで突如、好記録を出すので楽しみにしてください。伊勢崎市出身。伊勢崎のみなさん!応援をお願いします!

栗原 啓吾



開花、始まったルーキー

12月のレースで好記録を出し、駅伝メンバーに名乗りを挙げた。ポテンシャルでいっぱいにくらんだつぼみが、今まさに開花しつつあるルーキー。

長田 駿佑



走りもサポートも力強く

箸をしっかりと使って納豆を食べる日本通にして、母国ケニアではインプレッサに乗っているスバリストだ。同郷のベンソン選手をサポートする面倒見の良さでも、チームに貢献している。

L. アンドリュー



チーム随一の安定感

大学、社会人とけがが続いたが、ベストコンディション時の安定感はチーム随一。募った悔しさの分だけ、コースに立ったときの勢いは増すだろう。

鳥飼 悠生



伸びしろ抜群

国立大学出身で、専門的な指導者がつかない中、自分で練習メニューを考えてきた。思考力、伸びしろは抜群。けがに泣いてきたが、気持ちのガンリンは満タンだ。

森 悠人



世界一の走りで チーム鼓舞

5000m、ハーフマラソン視覚障害クラス世界記録保持者。パリ・パラリンピックで金メダルを目指す、その強烈な情熱でチームを鼓舞する。

唐澤 剣也



奥谷 巨 監督の戦略

序盤で飛び出し、中盤で前へ。終盤は守って勝つ!

1区は鈴木、森田、真船選手らスピードある選手が走り、ラストスパート合戦を制して上位で2区に渡す。
2区で走るベンソン選手は圧倒的に強く、たすきが3区にわたる時点でSUBARUは上位の可能性が高い。
3~5区は、走力のある選手に任せる。候補者である照井、清水、梶谷、川田選手らが上り調子なので、さらに前に出たい。
6~7区は、守る区間。小山、口町、長田、栗原選手らが候補となるが、上位でたすきをもらい、順位を死守してフィニッシュしたい。
(各区の出走選手は、12月30日に確定・公表されます)

富士通

東京五輪代表の松枝博輝選手、坂東悠汰選手ら、選手層の厚さを誇る。

Honda

世界陸上代表の伊藤達彦選手、青木涼真選手を中心に、前回優勝の勢いは健在。

トヨタ自動車

東京五輪マラソン代表の服部勇馬選手筆頭に総合力が高い。

旭化成

17~20年に4連覇。押しも押されぬ強豪。

黒崎播磨

前回4区区間新の細谷恭平選手がチームを勢いづける。

GMOインターネットグループ

大迫傑選手の出場が話題。

1区 スタート **9:15** **抜け出すのは、誰だ?**
 12.3km

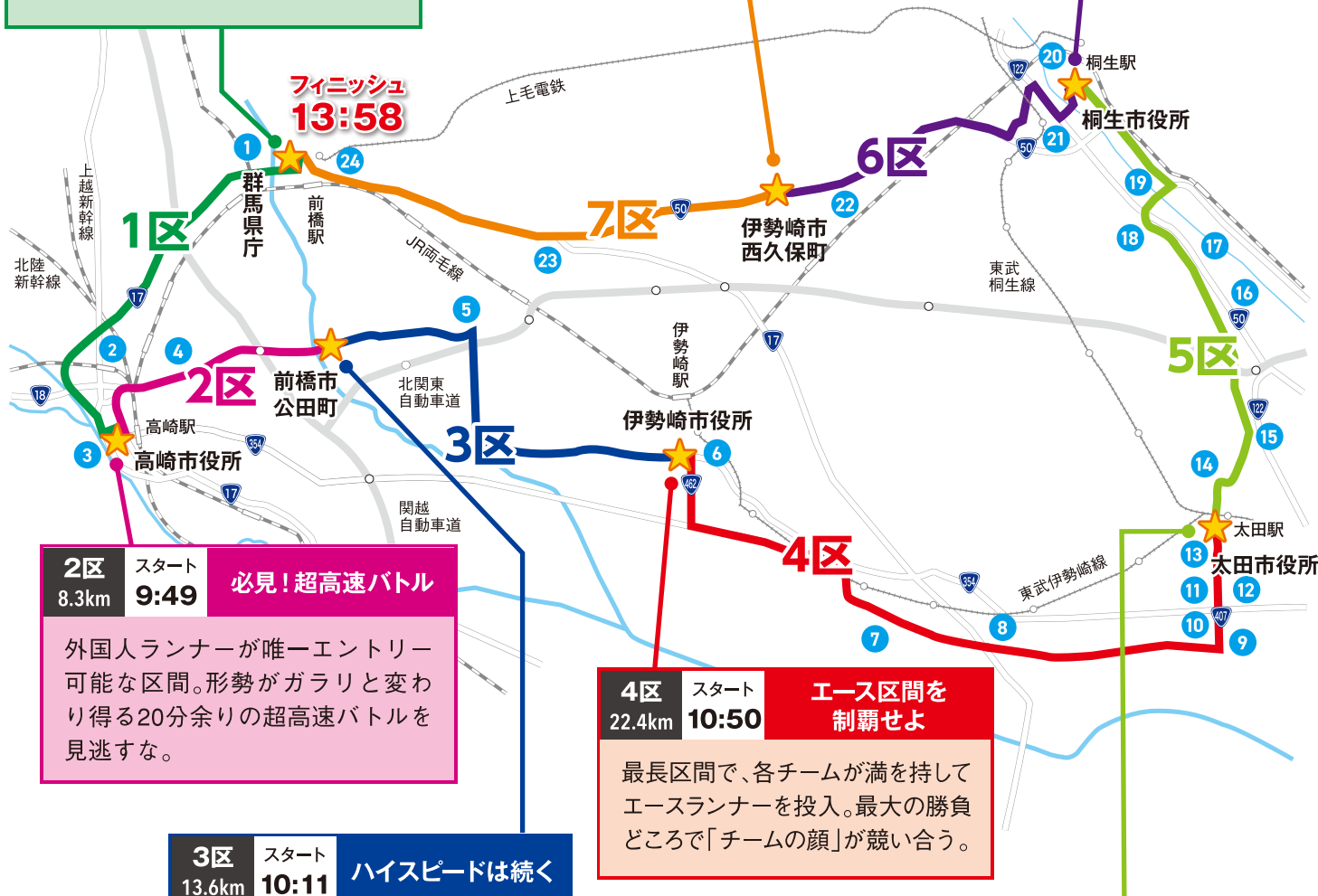
前橋の郷土芸能・華龍太鼓の勇壮なしらべに乗ってスタートラインへ向かうランナーたち。遥か100キロの戦いが、ここから始まる。

7区 スタート **13:14** **フィニッシュへ 真っ向勝負**
 15.7km

最後に待ち構える、ほぼ平坦の直線コース。逃げきるのか、猛追しての逆転か。すべてはここで決まる。

6区 スタート **12:40** **直角カーブを 超えていけ**
 11.9km

次々と現れる直角カーブとアップダウン。冷静な判断と粘りが勝負を左右する。



2区 スタート **9:49** **必見! 超高速バトル**
 8.3km

外国人ランナーが唯一エントリー可能な区間。形勢がガラリと変わり得る20分余りの超高速バトルを見逃すな。

3区 スタート **10:11** **ハイスピードは続く**
 13.6km

こちらもスピードスターが顔をそろえる。下りコースで順位が変動しやすい「変動の3区」で、食い下がれ。

4区 スタート **10:50** **エース区間を 制覇せよ**
 22.4km

最長区間で、各チームが満を持してエースランナーを投入。最大の勝負どころで「チームの顔」が競い合う。

5区 スタート **11:53** **アップヒル・タフネス**
 15.8km

高低差60メートルの長い上り坂と、向かい風がランナーを待つ。最も強靱なマインドを持つ者が、過酷なコースを支配する。

応援拠点 SUBARUの応援手旗がもらえます

- 1 群馬県庁
- 9 (有)富士協栄
- 17 東毛産業技術センター
- 2 富士スバル高崎問屋町店
- 10 イエローハット太田店
- 18 松原橋交差点
- 3 高崎市役所
- 11 トイザラス太田店
- 19 松原橋
- 4 希望館病院付近
- 12 富士スバル太田店
- 20 桐生市役所
- 5 (株)トピック
- 13 太田市役所
- 21 シュープラザ桐生店
- 6 伊勢崎市役所
- 14 ファミリーマート太田東金井店
- 22 齋藤理容所
- 7 ベイシア尾島店
- 15 ローソン太田東金井町店
- 23 富士スバル前橋50号店
- 8 やまや高林店
- 16 ローソン太田矢田堀町店
- 24 富士スバル本社

※駐車場はございません。